

特定家畜伝染病(豚熱・鳥インフルエンザ等)発生時の支援体制について

農政課

1 特定家畜伝染病と本市の発生状況

種 類	豚 熱	鳥インフルエンザ
概 要	豚熱ウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴。野生イノシシなどによって感染が拡大。本州（宮城県から和歌山県）沖縄で発生。	鳥に対して感染性を示すインフルエンザウイルスによる伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴。渡り鳥などの野鳥によって感染が拡大。北海道から沖縄まで日本全域で発生。
発生時期	通年	1 1月頃～5月頃
ワクチン	あり	なし
本市での発生事例	(1) 令和3年4月2日 10, 207頭処分・市動員237人 (2) 令和3年10月19日 3, 940頭処分・市動員98人	(1) 令和5年1月1日 13, 460羽処分・市動員15人 (2) 令和5年1月19日 447, 959羽 (3) 令和5年1月27日 55, 057羽処分・市動員71人 (連続したため2・3例目の動員数は合計)

2 特定家畜伝染病発生時の支援体制

県が行う特定家畜伝染病の蔓延防止のための殺処分、埋却、消毒措置等について支援を行うもの(別添資料参照)

(1) 総務情報班 ・市対策本部の設置・運営 ・現地事務所の調整確保 ・市民等への情報発信	(2) 住民対応班 ・住民説明会の開催準備 自治会長への連絡、 会場確保、周知等 (説明は群馬県が実施)	(3) 防疫支援班 【現地事務所係】 ・現地事務所の設営及び運営の支援	(4) 防疫支援班 【発生農場防疫支援係】 ・農場併設テントの設営及び運営の支援(防疫資材搬入、防疫従事者への防護服着脱支援等)
--	--	--	---

(5) 防疫支援班

【発生状況確認検査・清浄性確認検査係】

- ・農場検査のための公用車の確保と獣医の送迎
- ・現地事務所の調整確保

(6) 交通規制班

- ・農場及び埋却地周辺の市道等の通行規制

(7) 消毒支援班

- ・消毒ポイントの運営支援
(人員・水・電源の支援)

(8) 健康調査支援班

- ・防疫従事者の健康管理支援
(県健康福祉部医務課より動員要請)

※ 発生初動時及び小規模農場での発生の場合、防疫支援班などは農政部・農業委員会で対応する。



農場併設テントの運営支援 (防疫支援班 発生農場防疫支援係)



健康調査 (健康調査支援班)

3 地区別、飼養頭羽数別一覧表

豚	芳賀	桂萱	城南	大胡	宮城	粕川	富士見	計
3千頭未満		5	8	10	20	4	10	57
3千～1万頭			1	1	4		6	12
1万頭以上	1				3		1	5
総計	1	5	9	11	27	4	17	74

74農場 約20万頭

鶏	芳賀	総社	城南	大胡	宮城	粕川	富士見	計
5万羽未満	4		2	4	4	3	4	21
5～10万羽			6				4	10
10万羽以上	1	1	1	1			1	5
総計	5	1	9	5	4	3	9	36

36農場 約257万羽